

クライアントIPアドレスチェックの無効化

Shibboleth IdPのデフォルトの設定では、認証時にクライアントIPアドレスを記憶しておき、異なるIPアドレスからアクセスがあると再度認証を求める仕組みになっています。これは不正なログインを防止することを目的とした仕組みですが、DHCPやファイアウォール等の影響でIPアドレスが頻繁に変わるような環境から利用する場合にはIPアドレスが変わる度に認証する必要があります。idp.propertiesで以下を設定することでクライアントIPアドレスのチェックを無効化し、IPアドレスが変わっても認証を求められないようにすることができます。

conf/idp.properties

```
# Bind sessions to IP addresses
-idp.session.consistentAddress = true
+idp.session.consistentAddress = false
```